

## 木幡文徳教授 履歴・業績



## 木幡文徳教授 履歴・業績

### [履 歴]

昭和20年11月4日 福島県田村郡三春町（旧中郷村）にて出生

### [学歴]

昭和39年3月 福島県立田村高等学校卒業

昭和39年4月 専修大学法学部入学

昭和43年3月 専修大学法学部卒業

昭和43年4月 専修大学大学院法学研究科修士課程入学

昭和46年3月 専修大学大学院法学研究科修士課程修了

昭和46年4月 専修大学大学院法学研究科博士課程入学

昭和49年3月 専修大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

### [職歴等]

昭和47年5月 専修大学法学部助手（～昭和50年3月）

昭和50年4月 専修大学法学部専任講師（～昭和54年3月）

昭和51年4月 国士舘大学非常勤講師（～昭和56年3月）

昭和54年4月 専修大学法学部助教授（～昭和63年3月）

昭和58年8月 専修大学在外研究員としてアメリカ合衆国カリフォルニア  
大学パークレイ校に滞在（～昭和60年3月）

昭和63年4月 専修大学法学部教授（現在に至る）

昭和63年4月 埼玉大学経済学部非常勤講師（～平成2年3月）

平成元年4月 法政大学法学部非常勤講師（～平成2年3月）

- 平成2年4月 国士舘大学法学部非常勤講師（～平成3年3月）  
平成3年7月 専修大学今村法律研究室室長（～平成7年6月）  
平成5年7月 専修大学評議員（～平成28年3月）  
平成15年4月 専修大学自己点検・評価委員会委員長（同運営委員会委員長）（～平成17年3月）  
平成16年4月 専修大学大学院法務研究科兼任教授（～平成28年3月）  
平成16年9月 専修大学法学部長（～平成21年8月）  
平成16年9月 専修大学理事（～平成21年8月）  
平成23年4月 専修大学国内研究員（～平成24年3月）  
平成26年4月 専修大学図書館長（～平成28年3月）

#### [学会]

- 日本家族〈社会と法〉学会（会員《昭和61年～現在》，理事《平成10年～19年》，監事《平成19年～21年》）  
日本私法学会（会員《昭和46年～現在》，理事《平成14年～16年》）  
比較法学会（会員《昭和47年～現在》）  
日本法社会学会（会員《昭和47年～現在》）  
民主主義科学者協会法律部会（会員《昭和46年～現在》，監事《平成11年～13年》，関東甲信越支部事務局長《平成8年～10年》，関東甲信越支部長《平成11年～15年》）  
日米法学会（会員《昭和60年～現在》）  
比較家族史学会（会員《平成10年～現在》）  
ジェンダー法学会（会員《平成16年～現在》）

#### [社会活動]

- 東京家庭裁判所調停委員・参与（平成11年～現在）

## [業 績]

## [著書]

小野幸二編「親族法・相続法」(八千代出版・昭和54年) [第3章婚姻—第4節婚姻の無効と取消, 第5節婚姻の効力, 第6節婚姻の解消]

高橋忠次郎他「家族法講義」(改訂版)(邦光書房・昭和56年)(全面校閲及び執筆)

高橋忠次郎他「家族法講義」(三訂版)(邦光書房・昭和63年)(全面校閲及び執筆)

小野幸二編「親族法・相続法」・基本民法シリーズV(八千代出版・昭和63年)

木幡他「講説・民法(親族法・相続法)」(不磨書房・平成元年)

泉久雄他「家族法基本判例32選」(信山社・平成3年)[親子法関係を担当]

木幡編「論文試験・親族法/相続法」(学陽書房・平成3年)

泉久雄他「概説民法」(勁草書房・平成10年, 増補版平成12年)[第11章「家族」担当]

木幡他「講説・民法(親族法・相続法)」(改訂第2版)(不磨書房・平成12年)

木幡他「講説・親族法・相続法」(新版)(不磨書房・平成17年)

## [論文]

生存配偶者の相続権をめぐる諸問題(修士論文・昭和46年)

民法770条1項1号の不貞な行為の意義(判例評釈・専修法学論集19号・昭和49年)

「財産分与の考慮基準」—近時の審判例を通じて(専修法学論集第20号・昭和50年)

- 離婚慰謝料に関する若干の考察（専修大学法学研究所紀要2号・昭和51年）  
判例に見る有責配偶者の離婚請求—破綻主義の現状（専修法学論集26号・昭和52年）
- 別居ないし破綻における夫婦の生活費請求—その判断基準をめぐって（専修法学論集29号・昭和54年）
- 離婚に際し母が父に対し子の養育費を請求しないとした合意の効力（判例評釈・専修法学論集28号・昭和53年）
- アメリカにおける子の監護権—テンダー・イヤー・ドクトリンからジョイント・カストディへ）（専修法学論集44号・昭和61年）
- 面接交渉権の現状と課題（一）（専修法学論集46号・昭和62年）
- Putting hubby through syndrome とその救済（専修大学法学研究所所報第3号・昭和62年）
- 資格取得症候群とその救済—アメリカにおける離婚給付の一課題—（専修法学論集49号・平成元年）
- 面接交渉権追論（専修大学法学研究所紀要7「民事法の諸問題Ⅷ」・平成4年）
- 婚約不履行（不当破棄）の法的構成（森泉他編「民法基本論集Ⅶ」・法学書院・平成5年）
- 家庭裁判所と人事訴訟（民科法律部会編「誰のための『司法改革』か」・「法の科学」特別増刊号・日本評論社・平成13年）
- 子の引渡請求事件解決手続についての覚書（専修大学法学研究所紀要26・平成13年）
- 民事法的観点からの児童虐待防止法の検討（岩井宜子他編「児童虐待と現代の家族」・信山社・平成15年）
- 家族法改正の課題（2）—選択的夫婦別姓の隘路（専修大学法学研究所第42号・平成22年）

婚姻費用算定表を用いる場合の総収入の認定方法（判例評釈・民商法雑誌  
144巻1号・有斐閣・平成23年）

民法における家族と市民社会（古川純編「市民社会と共生」—東アジアに  
生きる—・日本経済評論社・平成24年）

**[解説・講演録など]**

小野幸二編「演習ノート 親族法・相続法」（事例問題解説分担・昭和56  
年，改訂版・昭和63年，全訂版・平成14年・法学書院）

内縁の法的性質・不当破棄（判例解説・家族法判例百選・第4版・昭和63  
年，第5版・平成7年，第6版・平成14年，第7版・有斐閣・平成20  
年）

今，家族について考える（講演記録・専修大学図書館公開講座「時代を説  
む」所収・平成3年）

「内縁の準婚的効果」・「内縁の不当破棄責任」（解説・「夫婦・親子215  
題」・判例タイムズ747号・判例タイムズ社・平成3年）

メディケイド有資格者となるための財産放棄（翻訳・国際家族法学会第5  
回世界会議国内委員会編『高齢化社会—その苦悩と政策への挑戦』・  
日本加除出版・平成3年）

事典「家族」（事項解説・「テンダー・イヤーズ・ドクトリン」他担当・弘  
文堂・平成8年）

調停の現場から・アメリカ法を素材に（講演加筆記録・「親権に執着する  
親たち」・ケース研究280号・東京家庭裁判所家事事件研究会・平成16  
年）

松本恒雄他編「判例プラクティス・民法Ⅲ・親族相続」（判例解説分担執  
筆・信山社・平成22年）